養護教諭

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

［1］次の（1）～（8）に答えなさい。

（1）次の文は，「学校保健安全法」の条文である。文中の（①）～（⑤）に当てはまる語句を書きなさい。

> 第27条
> 学校においては，児童生徒等の安全の確保を図るため，当該学校の施設及び設備の（　①　），児童生徒等に対する（　②　）を含めた学校生活その他の日常生活における（　③　），職員の（　④　）その他学校における安全に関する事項について計画を（　⑤　）し，これを実施しなければならない。

（2）「学校環境衛生基準」が，令和４年３月に一部改正された。次の表は，令和４年４月１日以降の，教室等の換気及び保温等に係る学校環境衛生基準の検査項目と基準の一部を示したものである。表の（①）～（⑨）に当てはまる数字や語句を下のア～チからそれぞれ１つずつ選び，記号で書きなさい。

検査項目	基準
換気	換気の基準として，二酸化炭素は，（　①　）ppm以下（　②　）。
温度	（　③　）℃以上，（　④　）℃以下であることが望ましい。
相対湿度	（　⑤　）％以上，80％以下であることが望ましい。
浮遊粉じん	（　⑥　）mg／m^3以下であること。
一酸化炭素	（　⑦　）ppm以下（　⑧　）。
ダニ又はダニアレルゲン	（　⑨　）匹／m^2以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。

ア　10　　イ　100　　ウ　18　　エ　0.10　　オ　6　　カ　20　　キ　0.50
ク　1000　　ケ　17　　コ　30　　サ　28　　シ　1　　ス　0.01　　セ　1500
ソ　でなければならない　　タ　であることが望ましい　　チ　であること

（3）「学校保健安全法施行規則」第19条（出席停止の期間の基準）に示されている，第二種の感染症の出席停止の期間の基準について，次の表の（①）～（⑧）に当てはまる数字や語句を書きなさい。

感染症名	出席停止の期間の基準
インフルエンザ	発症した後（　①　）日を経過し，かつ，解熱した後（　②　）日（幼児にあっては，（　③　）日）を経過するまで。
麻しん	解熱した後（　④　）日を経過するまで。
流行性耳下腺炎	耳下腺，顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後（　⑤　）日を経過し，かつ，（　⑥　）が良好になるまで。
風しん	発しんが（　⑦　）するまで。
水痘	すべての発しんが（　⑧　）するまで。

（4）次の文は，「学校保健の課題とその対応―養護教諭の職務等に関する調査結果から―」（令和３年３月　日本学校保健会）に示されている，「保健室経営計画とは」について，抜粋したものである。文中の（①）～（⑦）に当てはまる語句を書きなさい。

> 中央教育審議会答申（平成20年１月）では，学校保健関係者の役割の明確化，（　①　）の組織体制づくりの二点に焦点を当て，具体的な提言がなされた。その中で子供の健康づくりを効果的に推進するために，学校保健活動の（　②　）を果たしている保健室の経営の充実を図ることが求められた。保健室経営計画については，「保健室経営計画とは，当該学校の（　③　）及び学校保健目標などを受け，その具現化を図るために，保健室の経営において達成されるべき目標を立て，（　④　）・組織的に運営するために作成される計画である」と述べている。
> 学校教育の（　⑤　）となる児童生徒等の健康や安全を確保するには，全職員が相互に（　⑥　）していくことが重要である。そのためには，（　⑦　）の保健室経営計画を立て児童生徒の心身の健康づくりを効果的に進めていくことが必要である。

（5）「教職員のための指導の手引～ＵＰＤＡＴＥ！エイズ・性感染症～」（平成30年３月　日本学校保健会）に示されている，学校における性に関する指導の留意点４つのうち，「生徒の発達の段階を踏まえること」「学校全体で共通理解を図ること」以外の２つを書きなさい。

（６）次の文は，「『生きる力』を育む中学校保健教育の手引」（令和２年３月　文部科学省）に示されている，「保健教育の推進とカリキュラム・マネジメント」について，一部抜粋したものである。文中の（①）～（⑨）に当てはまる語句を下のア～ツからそれぞれ１つずつ選び，記号で書きなさい。

> 小学校体育科（　①　），中学校保健体育科（　②　），高等学校保健体育科「（　③　）」の学習は，生涯を通じて自らの健康や（　④　）を適切に管理し，（　⑤　）していくための（　⑥　）を育成することを目標として学習内容が（　⑦　）に位置付けられている。中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年７月）では，「（　⑧　）生活における健康・安全に関する内容」について「より（　⑨　）に理解する」としており，これらは中学校の特徴と言える。

ア　増進	イ　系統的	ウ　改善	エ　科目保健	オ　安全	カ　見方・考え方
キ　資質・能力	ク　社会	ケ　教科保健	コ　環境	サ　保健領域	シ　実践的
ス　科学的	セ　総合的	ソ　個人	タ　身近な	チ　体系的	ツ　保健分野

（７）「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年８月　日本学校保健会）に示されている，「糖尿病患児の治療・緊急連絡法等の連絡表」にある，低血糖が起こったときの症状について，次の表の（①）～（④）に当てはまる語句を書きなさい。

程度	症状
軽度	空腹感，（　①　），手がふるえる
中等度	黙り込む，（　②　），（　③　），異常行動
高度	（　④　），けいれんなど

（８）「学校保健の課題とその対応―養護教諭の職務等に関する調査結果から―」（令和３年３月　日本学校保健会）には，養護教諭が行う健康相談について，「養護教諭は，職務の特質から，心身の健康課題を発見しやすい立場にあり，いじめや児童虐待などの早期発見・早期対応に果たす役割も求められている」と示されている。養護教諭の職務の特質として考えられる事項を４つ書きなさい。

［２］「熱中症環境保健マニュアル2022」（令和４年３月　環境省）に示されている内容について，次の（１）～（３）に答えなさい。

（１）「熱中症の症状と重症度分類」に示されている，次の症状ア～コから，「Ⅱ度（中等症）」に当たる症状を４つ選び，記号で書きなさい。

ア　けいれん発作	イ　嘔吐	ウ　生あくび	エ　意識障害	オ　立ちくらみ
カ　大量の発汗	キ　頭痛	ク　倦怠感	ケ　虚脱感	コ　筋肉の硬直（こむら返り）

（２）熱中症を疑う症状がある場合，救急搬送の必要性を判断するポイントを３つ書きなさい。

（３）「Ⅲ度（重症）」の場合の冷却の方法として，「氷水浴／冷水浴法」を行う環境が整わない学校や一般のスポーツ現場で推奨される冷却の方法を書きなさい。

［３］月経のたびに腹痛，頭痛を訴え来室する中学校２年生の生徒がいる。養護教諭として，この生徒にどのような保健指導をする必要があるか，３つ書きなさい。

［４］アトピー性皮膚炎があり，「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の学校生活上の留意点における「プール指導及び長時間の紫外線下での活動」が「管理必要」となっている児童がいる。プール指導を行うにあたり，養護教諭として，教職員に周知しておく配慮事項を３つ書きなさい。

［５］眼の外傷について，次の（１），（２）に答えなさい。

（１）体育館で鬼ごっこをしていた児童が，「友達の頭と自分の顔がぶつかった。」と，手で眼を押さえて大声で泣きながら保健室に来室した。養護教諭としてどのように対応するか，具体的に書きなさい。

（２）廊下で転倒し，顔面を打撲した生徒に，「吐き気」「二重に見える」「眼球の動きが悪い」という症状があった場合，想定される傷病名を１つ書きなさい。

［６］災害が発生し，１週間後に学校が再開した。災害によるストレス症状だと思われる，小学校３年生の男子児童が，「頭が痛い，いらいらする」と暗い表情で保健室に来室した。養護教諭として，この児童にどのように対応するか，具体的に書きなさい。

受検番号		氏　名	

得点			

養護教諭解答用紙（解答例）

[1]

(1)	①	安全点検（3点）	②	通学（3点）	③	安全に関する指導（3点）
	④	研修（3点）	⑤	策定（3点）		
(2)	①	セ（2点）	②	タ（2点）	③	ウ（2点）
	④	サ（2点）	⑤	コ（2点）	⑥	エ（2点）
	⑦	オ（2点）	⑧	チ（2点）	⑨	イ（2点）
(3)	①	5（2点）	②	2（2点）	③	3（2点）
	④	3（2点）	⑤	5（2点）	⑥	全身状態（2点）
	⑦	消失（2点）	⑧	痂皮化（2点）		
(4)	①	校内外（3点）	②	センター的役割（3点）	③	教育目標（3点）
	④	計画的（3点）	⑤	基盤（3点）	⑥	連携（3点）
	⑦	課題解決型（3点）				
(5)	家庭・地域との連携を推進し，保護者や地域の理解を得ること。（4点）					
	集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと。（4点）					
(6)	①	サ（2点）	②	ツ（2点）	③	エ（2点）
	④	コ（2点）	⑤	ウ（2点）	⑥	キ（2点）
	⑦	チ（2点）	⑧	ソ（2点）	⑨	ス（2点）
(7)	①	いらいら（3点）	②	冷汗（3点）		
	③	蒼白（3点）	④	意識障害（3点）		
(8)	全校の児童生徒等を対象としており，入学時から経年的に児童生徒等の成長・発達を見ることができる。（3点）					
	活動の中心となる保健室は，誰でもいつでも利用でき安心して話ができる場所である。（3点）					
	児童生徒等は，心の問題を言葉に表すことが難しく，身体症状として現れやすいため，問題を早期に発見しやすい。（3点）					
	保健室頻回来室者，不登校傾向者，非行や性に関する問題など様々な問題を抱える児童生徒等と保健室で関わる機会が多い。（3点）					

受検番号		氏　名	

養護教諭解答用紙

［2］

(1)	イ (2点)	キ (2点)	ク (2点)	ケ (2点)
(2)	意識がしっかりしているか。 (3点)		水を自分で飲めるか。 (3点)	
	症状が改善したか。 (3点)			
(3)	水道水散布法 (4点)			

［3］

月経の仕組みと月経に伴う心身の症状（月経随伴症状）について指導する。 (4点)
頭痛や腹痛などの症状が出たときの対処方法を指導する。 (4点)
受診の必要性を理解させ，受診を促す。 (4点)

［4］

紫外線対策のため，日焼け止めクリームやラッシュガードを使用すること。 (3点)
塩素が悪化の要因となるため，プールの残留塩素濃度の基準（0.4mg/L～1.0mg/L）を守ること。 (3点)
治療薬や保湿剤の塗布が必要であれば，場所や時間を用意すること。 (3点)

［5］

(1)	・受傷した児童を受容し，気持ちを落ち着かせる。 ・事故発生時の状況を確認する。 ・担任や管理職に報告する。 ・まぶたを開くことができるかを確認する。 ・見え方の異常の有無を確認する。 ・全身症状の有無を確認する。 ・見え方の異常や全身症状がある場合は早急に病院を受診させる。 ・軽傷と思われる場合も保護者に連絡し，下校後の眼科受診を勧める。 (16点)
(2)	眼窩底骨折 (4点)

［6］

・普段通りの接し方を基本とし，優しく穏やかな声かけをして児童が安心できるように対応する。
・無理に聞き出そうとせず，児童が自ら話すことをじっくりと聞き，肯定的に評価して伝える。
・ストレスを受けたときに症状が現れるのは普通であることや症状が必ず和らいでいくことを伝える。
・学級担任と情報を共有し，心のケアに関する保健指導を実施する。
・保護者にストレス症状について情報提供するとともに，学校での様子を伝え家庭での様子を確認する。
・症状が重い場合や長く続く場合は，学校医等に相談し，受診を勧めるなどの適切な支援をする。

(18点)